



第14回関西障害学生支援担当者懇談会
2015.2.5(木)



佛教大学における 障がい学生支援について

学生支援課
学生相談センター



大学の紹介

- 通学課程 **7学部14学科**
- 在籍学生数 **6,666名**
(2014年5月1日現在)
- 障がい学生数 **114名**
(日本学生支援機構の調査にて報告している数)
- 学生支援課にて支援している学生数 **12名**



身体障がい学生への支援



支援状況



《視覚障がい》

2名

配慮依頼文
ポイントテイクの配置
携帯用拡大読書器の貸出
対面朗読室の設置
個人ロッカーの貸出
試験時の別室受験許可
(時間延長)

《聴覚障がい》

5名

配慮依頼文
ノートテイクの配置
手話通訳者の配置
DVD等の文字起こし

《肢体不自由》

5名

配慮依頼文
車イス用機の設置
個人ロッカーの貸出
車イスの貸出
試験時の別室受験許可
(時間延長)



ノートテイカー・ポイントテイカー 登録学生



○登録学生数	55名
○実動員数	42名
○1週間のテイクコマ数 学生1名につき	43コマ 週3コマ



学修支援室における支援



- 自由学習ルーム
学習サポーター(院生)が支援
レポート・卒論作成、試験対策の支援
- 「なんでも相談窓口」

奨学金・アルバイト・学籍・友達関係など
大学生活における、ちょっとした疑問を
アドバイスしています



発達障がい学生への支援



昨年度の支援利用状況



発達障がい学生
(可能性も含む)

35名(学相利用者の12.41%)
<前年度32名>

入学前後の支援
を申し出た学生

0名(今年度は6名)

入学後、学業面でつまづき、学相につながったのちに、
診断を受けるケースが増加している

発達障がい疑われるケースは、低単位・不登校・ひきこもり等の問題で学相を利用する学生に比較的多い



入学前後の支援の試み



➤ 入学前相談

- 両親と本人への面接（平成26年：6名）
- 学内の相談資源と学内の案内

➤ 学生生活ガイダンスでの広報

- 学修支援室、学生相談センター、健康管理センター

➤ 健康診断時のチェックリストの実施

- UPI・支援ニーズチェックリストの実施（H26年～）
- 面接希望者へのフォロー面接

（22名中、3名が継続面接）



学生相談センターの活動



■ 学生相談センターの取り組み

- 個別カウンセリング
- 一般向けグループワーク(年3・4回)
- 編入生向けグループワーク(年4回)
- 発達障がい学生対象のグループワーク(年10回)
- 心理テスト等の各種アセスメント
- 試験勉強タイム(各学期に2回)
- ランチタイム(週1回昼休み)
- 図書貸し出し
- 学生向け講演会(年1回)



学習面へ支援



- 自由学習ルーム(学修支援室)の利用
 - 学生相談センターと連携しながら、低単位取得者や発達障がい学生も利用
- 学生相談センターの個別面接
 - 主に発達専門カウンセラーが対応
- 発達障がい学生対象のグループワーク
 - レポート・試験相談会の開催
 - 試験勉強の個別相談会の開催(夏・秋の試験前)



グループワークのねらい



■心理的な安定

- 居場所の確保
- 自尊心や自己評価の向上

■コミュニケーションの向上

- 学生同士の交流
- 自己理解、他者理解

■ソーシャルスキルの向上

- 大学生活において、必要なスキルの獲得

重きを置く点は各回によって異なる



出口支援

(自立や就労に向けて)



➤ プレ就労体験の試み

【目的】アルバイト経験や就労へのイメージに乏しい学生へ就労体験の機会を提供し、就労への意欲や自信を高める

【体験の場】学内施設の行事など、学内資源を有効に活用

➤ 学外相談機関との連携

発達障がい学生対象の就労訓練やインターシップ
(発達障害者支援センター、民間の就労支援機関等)

卒業に向けた個別支援ステップ

